

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		山地治山		路河川名等		—	
事業毎の通番		12		市町村名		長野市	
事業目的		当該地は平成27年2月の融雪により崩壊が発生したものである。 保安林であるとともに、上下には生活道である市道もあることから拡大崩壊により生活への影響も心配されている。 このため、山腹崩壊地の復旧と谷止工の新設・機能強化を行い、保全対象の安全を図る。					
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		4-1地域防災力の向上 (災害に強い森林づくり)		事業実施の根拠法令等		森林法	
関連する事業、計画等		長野市 市道復旧工事(市道区域に関する工事)					
保全対象・範囲 受益対象・範囲		人家2戸、公民館、市道300m					
着手年度		平成28年度		事業期間		3年間	
完成年度(見込み)		平成30年度		費用対効果		1.50	
全体事業内容(主な工種)		谷止工1個(機能強化) 法枠工2,000㎡		事業費(千円)		100,000	
年度事業内容(主な工種)		先行委託(測量設計一式)		国庫		50,000	
事業効果		直接的効果 (定量的・定性的)		他家、公民館、市道の保全		その他	
		間接的効果 (定量的・定性的)		地域住民のライフラインの保全		県債	
必要性		○人家戸数:		2戸		評価	
		○公共施設数:		2箇所 公民館、市道		B	
		○災害時要援護者関連施設の有無:		なし			
		○保安林・林業用施設:		100% 指定あり 明44. 9. 11 0. 8ha			
重要性		○過去の災害履歴:		あり H27.2融雪災		評価	
		○交通遮断による地域経済への影響:		大 市道		A	
		○地域防災計画上の位置付け:		長野市の防災マップに位置付けあり			
効率性		○費用便益比(B/C):		1.50		評価	
		○事業期間:		3年間 (H28~H30)		B	
		○工法等の比較検討:		なし 土質等による			
		○流域の総合調整:		あり 長野市(市道)と調整済み			
緊急性		○流域の地形、地質:		第3紀層凝灰岩		評価	
		○平均渓床勾配(平均山腹勾配):		平均渓床勾配30°		A	
		○下流の堰堤等の整備状況:		なし			
		○山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域:		山地災害危険地区(山腹崩壊)C			
計画熟度		○事業情報の共有:		市道の復旧と併せて支所より住民へ説明		評価	
		○地域の取り組み:		事業の実施について要望がある		B	
		○地域の合意形成:		市道の復旧と併せて支所より住民へ説明			
		○住民との協働:		事業実施承諾書取りまとめへの協力あり			
部意見		平成27年2月に市道下部の山腹が崩壊した。放置すれば崩壊地が拡大し、市道へ影響を及ぼすおそれがあるため、対策を行う必要がある		行政改革課意見		山腹崩壊により市道路肩も崩落している。保全対象には人家、市道、公民館等があることから、重要性が高く、緊急性も認められる。	
						評価結果 総合評価	
						○ B	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)	
 	
【整備の必要性がわかる状況写真等】	
 	
①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該地周辺は、平成7年の豪雨災により、表層崩壊が発生しており、当該渓流には平成9年度に治山事業により谷止工が設置された。平成27年2月の融雪により、崩壊が拡大し、下流の渓床内に不安定土砂が堆積するとともに、市道の路肩が沈下した。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	中尾集落から中心部への最短のアクセス道路の下部の崩壊であり、市道の復旧と併せて平成27年4月に地元住民から事業要望があった。
③事業説明等の経緯	平成27年 5月10日に長野市を通じて、復旧計画(市道の復旧及び治山事業)について概略を説明し、合意済み。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	長野市の市道復旧工事と調整して事業を行う。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	法枠工の枠内を緑化し森林への復旧を目指す。
⑥地域活性化への影響と配慮	この工事の実施により市道の通行(ライフライン)の安全が確保できる。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36° 35' 東経:E 137° 58'